

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む。 —



K耐久東海シリーズ 2014 第5戦

K耐久(軽自動車耐久)東海シリーズ 優勝・準優勝 防災対策にバーチャルリアリティを活用

- プロジェクションマッピングで地域活性
- ア Wib 養殖「見える化」システム開発
- 平成 27 年度(前期)行事予定表
- トヨタ社長がサプライズ訪問
- 各センターからのお知らせ

編集／発行

愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <http://www.aut.ac.jp/>



2014 年 K耐久東海シリーズ 第 5 戦 KNCクラス優勝 KNNクラス準優勝

愛知県蒲郡市にあるスパ西浦モーターパークで行われた 2014 年 K 耐久（軽自動車耐久）東海シリーズの第 4 戦と第 5 戦。機械システム工学科 1 級自動車整備士養成課程の学生で結成された愛知工科大学チームは、カーナンバー①⑥「アルトスペシャル」KNCクラス（ターボ無しの改造範囲が少ないクラス）、カーナンバー⑬「アルト」KNNクラス（ノーマルクラス）に参戦しました。

カーナンバー①⑥「アルトスペシャル」は、KNCクラスで第 4 戦 準優勝、第 5 戦 優勝。カーナンバー⑬「アルト」は、KNNクラスで第 5 戦 準優勝となりました。体力、忍耐が必要となる過酷な耐久レースで車の性能を限界まで引き出したのは、1 級自動車整備士を目指す、志をひとつに団結する学生たちでした。

第 4 戦 4 時間耐久レース 優勝まであと一歩

9 月 28 日（日）、第 4 戦は 4 時間耐久レース。真夏のような太陽が照りつけるドライコンディションにあわせて調整が行なわれ、スタートを待ちました。

カーナンバー⑬の「アルト」は予選タイム、1'14.216 で 7 番手スタート。レース序盤から中ほどの集団に位置し、

そのまま順位を入れ替えながらの混戦状態。最後まで集中力を保って無事完走し、7 位でゴールしました。

カーナンバー①⑥(KNCクラス)の「アルトスペシャル」は、予選 1'09.641 で 2 番手スタート。序盤 4 番手に順位を落としますが、堅実に周回を重ねます。レース中盤には、ついにトップへ。ピット作業を行う学生も、トップを守ろうと必死の作業でドライバーをサポート。



しかし、終盤にトップを譲り、惜しくも 2 位でフィニッシュ。優勝への手応えを感じ、初の表彰台となりました。

第 5 戦 3 時間耐久レース チーム一丸となって

11 月 30 日（日）、前日の雨もあがり、汗ばむほどの陽気となった第 5 戦は 3 時間耐久で行われました。

カーナンバー⑬の「アルト」は、予選タイム 1'11.216。前回を上回る好タイムで 5 位スタートとなりました。序盤から順調な走りで 4 位へ順位を上げ、安定した走りで順位をキープ。1 時間を経過した頃には 3 位。残り 1 時間を切って 2 位、ついにトップへと順位を上げました。しかし、最終ラップ、残念ながら追い抜かれて 2 位でチェッカー。惜しくも優勝を逃しました。

カーナンバー①⑥の「アルトスペシャル」は予選からコースを猛アタックで攻めます。タイム 1'07.545 を叩き出して 2 位でスタート。レース序盤に 3 位に後退するものの、落ち着いた走りで追撃。カーブでは後輪が持ち上がるほどの限界スピードで攻めながら上位との距離を縮めていきます。いよいよ、中盤でついにトップへ。ピット作業もスムーズに



カーナンバー⑬「アルト」

こなし、そのままトップをキープ。レース終盤では、さらに集中力を増した走りで 2 位との差をじわじわと広げます。そして、ついにゴール。初優勝の栄冠を手にすることができました。

レース経験が浅い学生チームが優勝・準優勝の快挙を成し遂げたのは、運転の適性を考慮してのドライバー選び、日頃から培われた整備技術と信頼できる仲間があつてこそ。メカニック、ドライバー、ピットクルーが一丸となった結果でした。今後のますますの活躍が期待されます。



カーナンバー①⑥「アルトスペシャル」





情報メディア学科 板宮朋基准教授

災害対策にバーチャルリアリティを活用したプログラム開発

バーチャルリアリティを災害対策に。情報メディア学科 板宮朋基准教授は、大型ドライビングシミュレータを使った津波やゲリラ豪雨などによる道路の冠水を体験するプログラムやスマートフォンによる津波避難誘導を開発。地元自治体や各種メディアの注目を集めました。

冠水した道路での運転をシミュレータで疑似体験

高度交通システム (ITS) 研究所の大型ドライビングシミュレータを使い、津波やゲリラ豪雨で冠水した道路での運転を疑似体験できるプログラムを開発しました。

運転席を取り囲むように設置された大型スクリーンには、リアルな市街地が映しだされ、運転している最中に津波が押し寄せてくる様子や、冠水した道路に侵入した時の運転を体験できます。車が 20~30cm 程度冠水するとエンジンが急停止し、津波に流されて建物や他の車と衝突する様子も再現されます。板宮准教授は、「運転中は津波の到達や道路冠水を意外に認識できず、気がついた時には回避が間に合わないことが実感できる。

特に夜間や視界が悪い状況では注意が必要。多くの人に体験していただき、危険性を実感してほしい。」と話し、11 月 4 日 (火) には、蒲郡市役所の防災担当者や警察官、消防士、住民の方にも体験していただきました。

11 月 28 日 (金) には、第 3 回愛知工科大学 ITS シンポジウムにおいて「大型ドライビングシミュレータにおける津波発生・道路冠水時運転システム」を発表。新聞やテレビで紹介されました。

【NHK名古屋】ほっとイブニング (11 月 28 日)

【東海テレビ】スーパーニュース (11 月 28 日)

【中京テレビ】キャッチ! (11 月 28 日)

【CBCテレビ】イッポウ (11 月 28 日)

【名古屋テレビ】UP!! (11 月 28 日)



平成 26 年 12 月 1 日付 中日新聞
(この掲載は中日新聞社の許可を得ています)



【NHK名古屋】ほっとイブニングの
キャスターが体験レポート

スマホで津波避難を支援 避難場所へスムーズに誘導

開発した「津波等避難行動支援システム」は、GPS機能のついたスマートフォンやタブレット端末が気象庁の緊急地震速報や津波警報を受信すると、ダウンロードしておいた専用アプリが自動的に起動。避難場所への誘導と津波到達予想時間、現在地の標高を表示します。想定浸水域や倒壊の危険性が高い建物などは事前に登録されており、危険区域へ向かわないように音声で警告してくれます。アプリとして取り込んでおいた情報を基にGPSを使って案内するため、情報網が途絶えても作動するスグレモノです。

市民の冷静な避難に役立つほか、海が近い蒲郡市において土地勘の無い観光客の避難誘導にも期待されます。



平成 27 年 1 月 14 日付 中日新聞
(この掲載は中日新聞社の許可を得ています)



ご寄贈ありがとうございます

ダイハツCOPEN、日野 N04C エンジン、ホンダFREED

ダイハツCOPEN



ツインカムDVVT 3気筒 12バルブ I Cターボエンジン搭載で、力強い走りと低燃費が魅力の「COPEN」。

12月15日(月)、名古屋ダイハツ(株)・三河ダイハツ(株)から教材車両として寄贈され、ホール棟で寄贈式が行われました。

坪内孝暁社長から「COPENは最新の技術が搭載されたクルマ。大いに活用していただき、整備技術に加え人間力を高めた整備士を育ててください。」とご挨拶をいただきました。

日野N04Cエンジン



「トントントントン ヒノノニトン」のCMで知られる2tトラックDUTROに搭載されているジーゼルエンジン。環境性能とパワーを高次元で融合し、低燃費も実現した高性能エンジンです。

2月19日(木)、自動車棟2階で寄贈式が行われ、日野自動車(株)、愛知日野自動車(株)からエンジンの寄贈がありました。安田学長からは、「素晴らしいエンジンを使い教育を充実させ、世界を視野に入れて頑張っていきたい。」と感謝状が手渡されました。

ホンダFREED



愛知工科大学校友会 創立 10 周年事業として、ホンダFREEDを寄贈いただきました。

12月6日(土)に行われた寄贈式では、愛知工科大学校友会 谷孝浩会長より「卒業生の想いが詰まった車両です。本会と母校の発展のため、学生募集に役立てていただき、大切にしてください。」との言葉をいただきました。

室内の広いFREEDは、高校での模擬講義といった教材の運搬をはじめ、今後さまざまな用途に使われます。



NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

(平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月)

野球部が蒲郡市民総合体育大会で優勝

9月21日(日)、平成26年度蒲郡市民総合体育大会において、本学野球部が軟式野球一般の部で2年ぶり3度目の優勝を果たしました。

1 試合目は、市民病院と対戦。初回に先取点を奪い、主導権を握り優位な試合展開で進み、中盤に6番磯部選手の満塁ホームランでゲームを決定づけました。

2 回戦は昨年の優勝チームを破り、勝ち上がってきた日新鋼管と対戦。終始、緊張感のある試合になりました。2 回表、6 番磯部選手、7 番岡本選手、8 番深谷選手の3連打で2点を奪いましたが、直

後に1点を返され、息詰まる熱戦で試合が進みました。5 回に4 番藤本選手のタイムリーで1点を追加し、ゲームを決定づけたかと思われましたが、相手チームの強力打線により毎回ランナーを3塁まで進められ、幾度となく苦しめられました。しかし、ピンチを背負っても仲間を信じ励ましあい、1つずつアウトを取ることに集中して得点を許さず、勝利を引き寄せることができました。

今大会は学生たちにとって、チームワークによる勝利を実感できたとともに、社会人チームともふれあえる良い機会にもなりました。



情報メディア学科 加藤高明研究室

キャラクターが飛び出すプロジェクションマッピングで地域おこし

プロジェクションマッピングやゲームの研究を行う情報メディア学科加藤研究室。9月28日(日)、蒲郡市中央通りの歩行者天国で行われた商店街イベント「ごりやく市」で、プロジェクションマッピングとスマートフォン用ゲームを披露しました。

プロジェクションマッピングは、立体映像によって「ごりやく市」のマスコット「こんきち」がスクリーンから飛び出し、商店街やイベントを紹介するもの。

スマートフォン用ゲームは、商店街のイベントや商品をクイズで紹介。クイズのヒントを求めて商店街を歩き回り、正解すれば商品と交換でき、イベントを一層盛り上げました。

加藤研究室の学生たちは、地元の商店街の活性化につなげたいとパワーアップした第2弾の制作を検討しています。



平成 26 年 9 月 17 日付 中日新聞

(この掲載は中日新聞社の許可を得ています)

屋上で皆既月食観望会

10月8日(水)、3年ぶりの皆既月食が日本で見られ、本校校舍屋上で観望会を行いました。はじめは、曇り空で月食の様子が見えませんでした。皆既月食を迎える頃になると雲の隙間から美しい皆既月食を観望できました。

学生たちはスマートフォンでの写真撮影にも成功し、天体望遠鏡やビデオカメラを使った撮影も行われました。



皆既月食中には月の隣にあった天王星も観測でき、参加者の多くは宇宙の神秘的な一面を感じていました。



地震・火災に備えて防災訓練

愛知工科大学および愛知工科大学自動車短期大学合同で、蒲郡消防署協力のもと学生と教職員全員で防災訓練を行いました。

10月10日(金)正午すぎ、緊急地震速報が発令され大規模な地震が起こり、学内で火災が発生したとの想定で、体育館前へ避難をしました。

学生たちは、マニュアルに従い速やかに避難し、クラスごとの点呼で逃げ遅れた者がいないかを確認。5号館5階

に取り残された学生を消防隊員がはしご車で救助するなど、本番さながらの訓練でした。

終了後には、消火器訓練、煙道避難訓練も行われ、学生たちの防災意識の向上につながったようです。

災害時には、落ち着いて行動することが重要です。本学では、避難の方法、経路を理解し、安全な行動が取れるよう避難訓練を毎年実施しています。



各種イベントで研究成果を展示・実演 大学での研究や取り組みを知っていただくために

○幸田プレステージレクチャーズ

10 月 17 日 (金)、幸田町民会館つばさホールにおいて、第 5 回「幸田プレステージレクチャーズ」が開催。本学から 3 研究室が展示とデモを行いました。

- ・永野研究室：カプセル内視鏡ロボット
- ・板宮研究室：ヘッドマウントディスプレイを用いた市街地浸水状況の没入体感 ほか
- ・斎藤研究室：エンターテインメントロボットに関する研究

○科学三昧 in あいち 2014

12 月 26 日 (金)、自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンターにおいて「科学三昧 in あいち 2014」が開催。本学から 2 研究室が出展しました。

- ・荒川研究室：統計モデリングによる最大電力需要と東日本大震災以降の節電効果に関する検証。
- ・板宮研究室：ヘッドマウントディスプレイを用いた市街地浸水状況の没入体感 ほか

電子制御・ロボット工学科 出展

○ロボットシンポジウム 2014

10 月 22 日 (水) ～24 日 (金)、ポートメッセ名古屋において「ロボットシンポジウム 2014 名古屋」が開催。月面探査ロボットや小型ローバ、医療分野向け手術シミュレータなどを展示・実演しました。

○ものづくり博 2014 in 東三河

10 月 31 日 (金) ～11 月 1 日 (土)、豊橋市総合体育館において「ものづくり博 2014 in 東三河」が開催。各研究室で研究・製作に取り組むロボットを展示・実演しました。



情報メディア学科 出展

○デジタルコンテンツ博覧会 NAGOYA

12 月 6 日 (土) ～7 日 (日)、名古屋地域におけるデジタルコンテンツ産業発展のため、ナディアパークにおいて「デジタルコンテンツ博覧会 NAGOYA」が開催。実廣研究室およびプログラミング研究会が出展しました。実廣研究室からは、iPad 用学内案内アプリ、歩くと鳴る楽器アプリを。プログラム研究会からは Kinect ゲーム、Android や PS VITA のゲームアプリ、iPad 絵本アプリを出展しました。

多くの方々に遊んでいただき、たいへん好評でした。



学生表彰「学長賞」授与

10 月 27 日 (月)、課外活動等で顕著な成績をあげ、模範となった団体や個人を表彰する「学長賞」の授与式が行われました。

団体では、アメリカ ネバダ州で開催されたコンテスト「ARLISS」で 3 位入賞

した「STELA (宇宙技術研究部)」、K 耐久東海シリーズで入賞した「K 耐久同好会」。個人では、オープンキャンパスボランティアを意欲的に取り組んだ 7 名が表彰されました。

表彰式で安田学長は、「何事も一歩踏み出すことが重要であり、学生生活ではさまざまな経験をし、学生の代表として、さらに磨きをかけてほしい。」と言葉を掛けられました。

突然のサプライズに学生たちも驚く トヨタ自動車 豊田章男社長が訪問

10 月 31 日 (金)、幸田サーキットにおいて愛知工科大学自動車短期大学の 2 年生がレーシングカートの実習中に、トヨタ自動車 (株) 豊田章男社長がサプライズ訪問されました。

豊田社長は、新城ラリーに出場するマシンの最終調整で幸田サーキットを訪れており、本学がレーシングカートの実習を行っていることを聞きつけ、学生たちを驚かせようと突然登場されました。

学生たちは驚きの対面の後、レーシングドライバーとのディスカッションも行われ、とても興味深い話を聞くことができました。

豊田社長からは、「これからの自動車業界を活気あふれるものにするためにも、若いみなさんの力が必要です。」と熱いメッセージを頂き、学生たちはかけがえの無い時間を過ごすことができました。



豊田章男社長 (前列左から 4 人目) と記念撮影

シュークリーム女子部 大学祭のイベント収益を障害者支援に

蒲郡市内にある特定非営利活動法人
楽笑が運営する「パン工房八兵衛」は、
「障害のある人もそうでない人も、楽し
く暮らせる町づくりを目指し、地域のニ
ーズに応えたい」と障害者といっしょに
パンづくりをする活動をされています。
この活動に賛同するシュークリーム

女子部は、今年も大学祭で抹茶を振る舞
うチャリティーイベントを行い、その収
益を「パン工房八兵衛」に届けました。
学生たちはこの活動を通して地域との
つながりを大切に、「パン工房八兵衛」
をサポートできることに喜びを感じて
いるようです。



情報メディア学科卒業研究で アワビ養殖実験の「見える化」システムを開発。

情報メディア学科 4 年 佐藤拓也さん
が卒業研究の一環として、愛知県立三谷
水産高等学校の生徒が取り組むアワビ
養殖実験の飼育データを記録・管理する
システムを開発しました。

これまで、手書きで記録されていた飼
育データがモバイル通信を使ってサーバ
に送信され、データベース化できるよう
になりました。

これにより、過去の飼育データを簡単
に検索できるほか、日々の飼育データを
グラフとして見ることもできます。飼育
関係者は、インターネットを通じて手元
のパソコンで状況を確認することも容
易になりました。

大学生が地元高校の実験を支える形
での高大連携は、高校生にとってアワビ
養殖実験の効率化が図られたほか、「大
学で何ができるのか」を知ることができ
る良い機会となりました。



平成 27 年 2 月 8 日付 中日新聞
(この掲載は中日新聞社の許可を得ています)

発売前のマツダ新型ロードスターをいち早く体験 本学がロードスター展示イベント会場に

2 月 27 日 (金)、発売前に新型ロー
ドスターを体験できるファン交流イ
ベント「ROADSTER THANKS DAY in JAPAN
2nd」が本学の自動車棟で行われました。

開発担当者によるプレゼンテーショ
ンのほか、学内での走行体験も行われ、
一足早く新型ロードスターを満喫。車
と一体になる乗り心地はもちろん、開
発に秘められた想いが伝わるイベント

でした。

また、前日の 26 日 (木) には本学
学生限定で、車両開発本部主査 山本
修弘氏による特別講演や、チーフデザ
イナー 中山雅氏によるロードスター
を囲んでのデザインプレゼンのほか、
学生とのトークセッションも行われ、
新型ロードスターの開発秘話などを
興味深く聞きっていました。



AUT

INFORMATION

お知らせ

学務課

○教育懇談会

教育懇談会は、本学と保護者との連携のもとに相互理解を深め、学生への指導に役立てるため毎年実施しています。

平成26年度は、6月28日(土)～7月13日(日)の間に富山、金沢、福井、松本、飯田、長浜、高山、郡上、熊野、伊勢、静岡、浜松、宮古島の13都市で開催。10月6日(月)～17日(金)には本学で実施しました。大学院、大学、短期大学あわせて495名の保護者の参加をいただきました。

平成27年度も教育懇談会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

○学生表彰ポイント制度

この制度は、ボランティア活動、課外活動、資格取得、各種講座の受講、インターンシップ、大学祭の運営などへ積極的に参加し、模範となる学生を表彰するために今年度から設けられた制度です。

それぞれの活動や活躍に応じてポイントを付与し、大学は15ポイント以上、短大は10ポイント以上で、かつ2種類以上の活動ポイントを貯めた学生を表彰します。

学生表彰を受賞できるよう、学生の皆さんの活躍を願っております。

○成長ふりかえりシート

愛知工科大学自動車短期大学では平成25年度から、入学後1年間または2年間で学生の「知識」「技術」以外に「人間性」「意欲」「能力」をどれだけ向上できたか測定する「成長ふりかえりシート」を導入しました。

学生自身が自らの成長を実感するとともに、教員もシートをもとに指導方法の改善などを行っています。

これを継続することで、学生のためになる教育、質の高い教育に取り組んでいます。

27年度 教育懇談会開催予定	地区	開催都市	日程	地区	開催都市	日程
	甲信越 北 陸	富山県 富山市	6 月 27 日 (土)	東 海	静岡県 静岡市	7 月 11 日 (土)
		石川県 金沢市	7 月 11 日 (土)		静岡県 浜松市	7 月 12 日 (日)
		福井県 福井市	7 月 12 日 (日)	沖 縄	沖縄県 石垣市	7 月 4 日 (土)
		長野県 松本市	7 月 4 日 (土)		沖縄県 宮古島市	7 月 4 日 (土)
		長野県 飯田市	7 月 5 日 (日)		沖縄県 那覇市	7 月 5 日 (日)
	近 畿	滋賀県 長浜市	6 月 28 日 (日)	本 学	愛知県 蒲郡市	10 月 5 日 (月)) 10 月 16 日 (金)
	東 海	岐阜県 高山市	6 月 27 日 (土)			
		岐阜県 郡上市	6 月 28 日 (日)			
		三重県 熊野市	7 月 4 日 (土)			
		三重県 伊勢市	7 月 5 日 (日)			

事務局

○文部科学省「私立大学等教育研究
活性化設備整備事業」に採択

文部科学省では、教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学との連携、グローバル化などの改革に全学的に取り組む私立大学等に対して、設備費などを一体として重点的に支援する「私立大学等改革総合支援事業」を実施しています。

本学は 25 年度に引き続き、26 年度も「教育の質的転換」において採択を受けました。これにより、学生の「意

欲」「人間性」「能力」をバランス良く向上させる取り組みとして、ICTを活用した「授業収録配信システム」を導入しました。

この事業により、一部の授業を自動記録した動画が教材として活用され、学生はいつでも授業内容を振り返り復習することができるようになりました。

また、学生の電子教材へのアクセス状態や授業における課題への取り組み等の管理を通じて、学生の学修状態をつかみ、きめ細かな指導に結びつける

こともできます。学内ネットワークの整備も同時に図ることができ、画像などの伝送速度の向上にもつながりました。

さらに文部科学省による「私立学校施設整備費補助金」において、「設計製図及び製作コンピュータ支援システム」の採択も受け、CAD/CAM実習における機器も一新。ものづくりには欠かせない実践的な設計・製図の技術を習得することで、近年のCAD技術の進歩にあわせた対応ができ、社会のニーズに応えていきます。

総合教育センター

総合教育センターには、基礎教育、教育連携、初年次教育の 3 部門があり、A U T 教育改革の核として大学の各学科、各センター、学務部および短期大学と連携して活動しています。

ここでは、皆さんにとって大事な課外学習支援について紹介します。

基礎教育部門では、大学での学びを円滑に進めるために、数学や物理、化学、英語といった基礎科目の個別指導を行っ

ています。どんな人でも勉学に対して、多かれ少なかれ問題や不安を抱えています。そうした学生のための学習支援であって、一人ひとりの学力レベルや目標に応じて、個人または少人数グループで基礎科目を納得いくまで学ぶことができます。

個別指導には、オフィスアワーという制度を使う方法もあります。教員の研究室を訪問し、理解が難しかった内容の質問や学問以外の話もすることが

できます。学生の皆さんの便宜を図るため、各教員のオフィスアワーの時間帯や指導内容などの一覧表は、センター前の掲示板などに掲示してあります。どの教員も親身に相談に乗ってくれますので、気軽に利用してください。

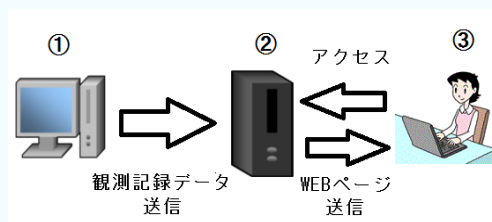
今後は、数学が好きな人、得意な人、高度な数学を理解したい人などに対して、ハイレベルな内容の特別授業も計画しています。

地域・産学連携センター

蒲郡市「がまごおり産学官ネットワーク会議」と三谷水産高等学校が中心となって推進している「あわび陸上養殖プロジェクト」に協力して、愛知工科大学工学部情報メディア学科宇野新太郎教授、同 4 年佐藤拓也さんが毎日の飼育データの見える化を行い、遠隔からでも常時、飼育状態を観察できるシステムを開発しました。具体的には、養殖場設置の PC から飼育記録を入力し、WEB サーバへデータ送信します。WEB サーバは受信したデータを保存し、閲覧者の要求にあわせたページを送信します。昨年の 4 月から開発を行い、今年 2 月より本格稼働しました。今後は、画像の取り込みも視野に、研究開発を進めていく予定です。なお、この取り組みは、中日新聞、朝日新聞

などに掲載されました。

見える化システムの全体図は以下のようになっています。



番号	構成要素名
①	養殖場設置の PC
②	WEB サーバ
③	閲覧者

今回の試みは、大学が高校へ赴くという新しい高大連携となっています。

本研究の問い合わせ先
愛知工科大学工学部情報メディア学科
宇野新太郎教授
Tel:0533-68-1304(内線 7810)
e-mail:uno-shin@aut.ac.jp

連絡・お問い合わせ先
地域・産学連携センター
センター長：小塚一宏教授
地域・産学研究協力室
E-mail: chiiki@aut.ac.jp
Tel:0533-68-1304(内線 2122)

メディア基盤センター

○詐欺まがいの迷惑ソフトに注意！

フリーソフトウェア等をインストールする際、インストーラーの表示している文章をよく読んでいますか。インストール時には、他のソフトウェアも同時にインストールすることに同意を得ようとする画面が表示されることがあり、気づかずに「次へ」をクリックすると、インストールするつもりのないソフトウェア（迷惑ソフト）をうっかりインストールしてしまうことになります。

迷惑ソフトは、脆弱性を利用して勝手にインストールされるコンピュータウイルスとは違い、ユーザーの操作による正規の手順でインストールされるため、

ウィルス対策ソフトは反応しません。迷惑ソフトがインストールされると、「エラーの修復」等の画面が勝手に表示される、ブラウザのスタートページが知らない海外のページに変更されるなどの症状が出ます。

センターへの相談で多いのが「PC をスキャンし、エラーを多数検出したという警告表示がでる」症状です。このような迷惑ソフトは、警告やエラーを見せつけ、不安を煽り有償版の購入へ誘導するタイプで、システムのエラーを実際にチェックしているわけではないようです。

多くの迷惑ソフトは Windows のコントロールパネルから通常の手段でアン

インストールできますので、あわてずにプログラムの一覧を日付順で表示し、最近インストールした覚えのないソフトを順にアンインストールしましょう。



図書館

○新着図書のご案内

平成 26 年度、図書、視聴覚資料、楽譜を約 650 点受入れました。図書館 H P や図書館前の掲示板などでご確認頂けます。どうぞご利用ください。

○図書館貸出条件を変更します

平成 27 年 4 月より学生への貸出を以下の通り変更します。

貸出冊数：合計 5 冊まで

貸出期間：2 週間（図書・雑誌とも）

○ラーニングコモンズのご活用を

4 号館閲覧室のラーニングコモンズには、グループ学習に適した移動可能な机、椅子やプロジェクター、ホワイトボードなどを設置しています。また、図書館ではノートパソコンの貸出もしていますのでご利用ください。

講義等で利用できない時間帯は、学内の電子掲示板でお知らせしています。また、グループ学習で他の利用者

の入室を制限したい場合は、1 週間前までに図書館に申し出てください。講義使用時同様に入室制限を周知します。

○開館時間について

開館時間を以下の通りとします。どうぞご利用ください。

4 月 1 日・2 日：休館

4 月 8 日迄：9 時～17 時

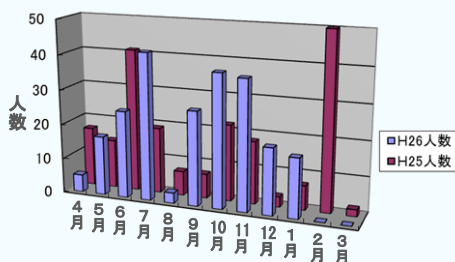
4 月 9 日以降：平日 9 時～20 時 30 分
土曜 9 時～17 時

ものづくり工作センター

「研究から部活まで、各種“ものづくり”支援」を合言葉に、本学での卒業研究・サークルや部活動での支援と並行して、さらに広く地域社会に開かれた「ものづくり工作センター」を目指して活動を展開しています。

当センター（6 号館機械工作室を含む）の利用状況については、平成 27 年 1 月末現在累計で、利用件数は 161 件、利用人数は 230 人で、件数において前年同期比 57.8% 増、利用人数において同期比 48.4% 増でした。利用件数・

人数とも増加した要因は、当センターの広報活動の結果、認知度の向上により卒研での加工部品の増加、サークル活動での利用増でした。



学内定常活動として、例年の大学 4 年生に加え、新たに短期大学 2 年生を対象に、7・9・10・11 月に「工作機械・電動工具取扱い安全講習会」を実施しました。また、地域貢献活動として、5・9・10・11 月の第 4 日曜日に、蒲郡商工会議所主催の「ごりやく市」会場において、FRC 同好会の学生と協力して日用品故障診断および綿菓子販売の支援も行いました。

今後、ますますのご利用をお待ちしています。

キャリアセンター

○インターンシップ体験レポート

平成 26 年度インターンシップに大学院 1 名、工学部 46 名が参加しました。工学部では今年度から 3 年生に加え、1・2 年生にも単位が付与されます。また、短期大学では、2 年生の内定者を対象に整備技術の実践と社会人の心構えを目的に、夏期休暇を利用した「職場体験実習」を実施し、後期の学習成果につなげています。

今回は、夏期休暇に一人で 3 社のインターンシップに参加した大学院 1 年生（博士前期課程）の「金洪（きん・こう）さん」を紹介します。金さんは、中国大連市出身の留学生で、本学の工学部情報メディア学科から大学院に進学。大学のサークルでは、地元の魅力を Web サイトで発信する「蒲郡 Fan」に所属しています。夏期休暇の大半をインターンシップで過ごした目的は、

「就職活動の準備段階として有効利用すること、そして地元企業をもっと知りたかったから。」と話していました。

1 社目の「東愛知新聞社」では、原稿の割り振りや写真の配置、見出しのつけ方などを専用ソフトで体験。「文字数の制約の下で、記事にあった見出しを考えるのはたいへん難しかった。」と苦労したそうです。また、過去記事に見出しをつける実習では、ほとんどが見直し。しかし、良い見出しや新発想もあり、「社員でも思いつかない。」とお褒めの言葉も頂いたそうです。

2 社目は、看板資材の卸売りや加工サービスを提供する「株式会社ユーボン」。イラストレータのソフトを使ってカタログや材料などを貼る見本帳を作成しました。画像編集ツールの使い方には熟知していた金さんでも、「画像と文字の配置や配色といったデザインは、

ソフトを使うスキルだけではなくセンスが重要と痛感。さらに勉強して自分を磨きたい。」と向上心に溢れていました。

最後の実習となった「NPO 法人穂の国森づくりの会」では、苦手な虫と戦いながら森林保全活動を体験しました。ここでの感想を「森の保全には気力と体力が必要。木を植える、雑草を抜く作業のほか、森の大切さを伝えることも重要で、とても有意義な活動でした。」と語ってくれました。

インターンシップ全体を通しての感想は「自己分析と仕事探しであり、今回の体験を通してより具体的になった。」とのこと。将来の仕事に大きな未来と就職活動への手ごたえを感じたようです。

金さんの貴重な体験は、今後の進路に必ず活かされてくることでしょう。

聞き手：キャリア支援課課長 井戸田 敦

研究室訪問

— 情報メディア学科 板宮研究室 —

<VR（人工現実感）とAR（拡張現実）>

板宮研究室では、バーチャルリアリティ(VR)技術や AR(拡張現実)技術を活用したソフトウェアとコンテンツの開発を行っています。外部の研究機関や企業、自治体などと連携しながら、社会応用に結びつけています。

1. VRを用いた災害状況体験システム

東日本大震災における尊い教訓から、災害発生時に各自が適切な避難行動を素早く開始することが重要視されています。しかし、自治体が配布している紙のハザードマップの情報を読み取り、頭の中に災害状況をリアルにイメージすることは難しいと感じる人も多いです。そこで、津波や道路冠水などの状況をコンピュータグラフィックスで精密に再現し、体験できるしくみを開発しています。大型ドライビングシミュレータ用、ヘッドマウントディスプレイ用、スマートフォン用と、3種類のソフトウェアを開発し、一般向けにも公開しています。



図 1. 大型ドライビングシミュレータ用津波体験

本システムを警察官や消防士、自治体の防災担当者も体験し、評価を行いました。特に夜間では、津波の襲来に気がつきにくいので、新たな対策の必要性が示唆されました。

また、ゴーグル型のヘッドマウントディスプレイ(HMD)を用いたシステムでは、実在する都市において津波や浸水に遭遇した状況などを没入体感することができます。臨場感あふれる体験が可能なので、新たな防災教育のツールとして期待されます。持ち運び可能で、地域の避難訓練などの防災イベントでも活用されています。



図 2. ヘッドマウントディスプレイ Oculus Rift DK2

Profile

板宮 朋基

准教授・博士（政策・メディア）

〔専門〕 画像処理／空間情報処理／
バーチャルリアリティ

〔経歴〕 慶應義塾大学デジタルメディア・
コンテンツ統合研究機構
東京工科大学デザイン学部



図 3. HMD を用いた災害状況の没入体験

2. ARを用いた手術ナビゲーションシステム

近年発展が目覚ましいウェアラブルデバイス。特に眼鏡型シースルーディスプレイを用いた手術ナビゲーションシステムを、横浜市立大学医学部や国立成育医療研究センターと共同で開発しています。



図 4. 両眼立体視可能な眼鏡型シースルーディスプレイ

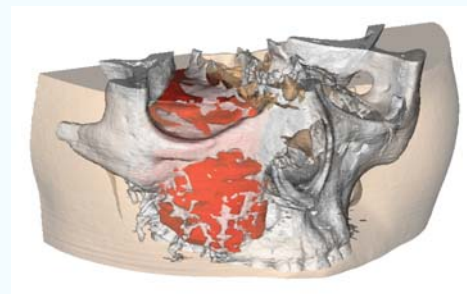


図 5. 手術ナビゲーションの表示例(患部を赤く透過表示)

学生のみなさんへ

今や、一昔前の PC よりも高性能なスマートフォンを多くの人が持ち歩くようになりました。数年後はヘッドマウントディスプレイやスマートグラス(眼鏡型ウェアラブルデバイス)を身に着けているのが当たり前になるかも知れません。研究室メンバーは、最初は好きな内容のゲームをつくりながら VR/AR を学んでいきます。学科問わず、ぜひ気軽に訪ねて来てください。

平成 27 年度(前期) 行事予定表

※学内における諸事情により、予定を変更することがあります。
オープンキャンパスは、主に高校生を対象としたイベントです。

大学

行 事		日 程
4 月	入学式	2 日 (木)
	オリエンテーション	3 日 (金) ～8 日 (水)
	1 年 健康診断	6 日 (月)
	1 年 履修登録	7 日 (火)
	2 年 健康診断・履修登録	7 日 (火)
	3・4 年 健康診断・履修登録	6 日 (月)
	1 年 工場見学	16 日 (木)
5 月	オープンキャンパス	23 日 (土)
	4 年 就職活動調査②	29 日 (金)
6 月	オープンキャンパス	13 日 (土)
	教育懇談会 (富山・高山)	27 日 (土)
	教育懇談会 (長浜・郡上)	28 日 (日)
7 月	教育懇談会 (松本・熊野・石垣・宮古島)	4 日 (土)
	教育懇談会 (飯田・伊勢・那覇)	5 日 (日)
	教育懇談会 (静岡・金沢)	11 日 (土)
	教育懇談会 (浜松・福井)	12 日 (日)
	オープンキャンパス	18 日 (土)
8 月	定期試験	25 日 (土) ～31 日 (金)
	オープンキャンパス	1 日 (土)、2 日 (日)
	英国研修	2 日 (日) ～30 日 (日)
	学生夏期休業	3 日 (月) ～
	オープンキャンパス	23 日 (日)
9 月	オープンキャンパス	29 日 (土)
	韓国研修会	1 日 (火) ～4 日 (金)
	4 年・1 級課程 オリエンテーション・履修登録	4 日 (金)
	1・2・3 年 オリエンテーション・履修登録	11 日 (金)
10 月	オープンキャンパス	12 日 (土)
	教育懇談会 (本学)	5 日 (月) ～16 日 (金)
	防災訓練	9 日 (金)
	大学祭	10 日 (土)、11 日 (日)

短期大学

行 事		日 程
4 月	入学式	2 日 (木)
	1 年 オリエンテーション	3 日 (金)、6 日 (月)
	2 年 オリエンテーション	6 日 (月)
	2 年 就職活動調査①	6 日 (月)
	1・2 年 健康診断	7 日 (火)
	1・2 年 実習ガイダンス	7 日 (火)
	オープンキャンパス	25 日 (土)
5 月	オープンキャンパス	23 日 (土)
6 月	2 年 就職活動調査②	5 日 (金)
	オープンキャンパス	13 日 (土)
	教育懇談会 (富山・高山)	27 日 (土)
7 月	教育懇談会 (長浜・郡上)	28 日 (日)
	教育懇談会 (松本・熊野・石垣・宮古島)	4 日 (土)
	教育懇談会 (飯田・伊勢・那覇)	5 日 (日)
	教育懇談会 (静岡・金沢)	11 日 (土)
	教育懇談会 (浜松・福井)	12 日 (日)
8 月	オープンキャンパス	18 日 (土)
	定期試験	23 日 (木) ～28 日 (火)
	選択科目履修登録	31 日 (金)
	2 年 ビジネスマナー講演会	31 日 (金)
	オープンキャンパス	1 日 (土)、2 日 (日)
9 月	英国研修	2 日 (日) ～30 日 (日)
	学生夏期休業	8 日 (土) ～
	オープンキャンパス	23 日 (日)
	オープンキャンパス	29 日 (土)
10 月	韓国研修会	1 日 (火) ～4 日 (金)
	2 年 オリエンテーション	7 日 (月)
	オープンキャンパス	12 日 (土)
	1 年 オリエンテーション	17 日 (木)
	1 年 総合就職実力模試	17 日 (木)
	1 年 就職ガイダンス①	24 日 (木)
	1 年 自動車メーカー講演会	28 日 (月) ～30 日 (木)
11 月	教育懇談会 (本学)	5 日 (月) ～16 日 (金)
	防災訓練	9 日 (金)
	大学祭	10 日 (土)、11 日 (日)
	1 年 就職模試①	16 日 (金)
	1 年 C S 教育講座	30 日 (金)
	2 年 社会研修	30 日 (金)、31 日 (土)

大学院

行 事		日 程
4 月	入学式	2 日 (木)
	オリエンテーション	2 日 (木)、3 日 (金)
	履修登録	3 日 (金)
	健康診断	6 日 (月)
8 月	学生夏期休業	3 日 (月) ～
9 月	オリエンテーション	9 日 (水)
	履修登録	9 日 (水)
10 月	防災訓練	9 日 (金)
	大学祭	10 日 (土)、11 日 (日)

※大学・短大と同じ日程で教育懇談会を開催します。